

# 『心のケア』環境の充実

- ①相談できる場所があることを知ってもらう
- ②同じような仲間がいることを知ってもらう
- ③「自分は悪くない」と気づいてもらう

# 自立支援

- 家族との関係性
- 教団由来の価値観と向き合う
- 教団の仲間達との関係性
- 一般社会への復帰

## 直接的支援

### 「心のケア」の現場に携わる方

(精神科医・カウンセラー  
社会福祉士・児相職員など)

- 1 問題性の理解**  
精神・医療・福祉の現場に携わる方々の間で宗教2世の被害者性を認識してもらい「宗教的虐待」の周知に努める。(セミナーなど)
- 1 「心構え」を学ぶ**  
・第一に「共感」「承認」  
・教団批判・信仰批判はしない  
・普遍的 / 教団別 / 個別的 要因の把握 など、対応する際の注意点を学ぶ
- 1 積極的な情報発信**  
SOSを出していいという思考にすら至らない2世が多い。彼らに「相談できる場所」があることを伝える必要がある。

### 元宗教2世

(同じ2世として  
力になりたい人)

※自分の心の安定・生活が最優先! 力になりたい人が無理しない範囲で。

皆さんは、悩んでいる2世に「同じような仲間がいる」と気づかせることができる貴重な存在です。

- 1 「宗教2世ホットライン」での情報提供**  
脱会に向けた具体的アドバイスや情報提供、経験談の共有などを行えるサイトを立ち上げ、悩んでいる2世の力になりたい2世が匿名ライターとしてボランティアで記事を投稿してもらえらる仕組みを作る。
- 1 ツイッターで呟く**  
皆さんの呟きで精神的に助けられる2世が確実にいる(皆さん自身も経験あり?)。当事者の声を知りたい第三者も見ている。
- 4 オフ会の開催**  
当事者同士の共感や情報交換の場。「ピアサポート」の力は絶大。

### カルト被害の現場に携わる方

(カルト対策学校  
ネットワーク関係者・  
各教団の被害者の会など)

- 1 問題性の理解**  
関係者間で宗教2世の被害者性を認識してもらい、支援対象として認識してもらおう(大学への働きかけ、グループのセミナーなど)
- 1 学校における未成年・学生2世へのアプローチ**  
従来行われてきたカルトへの注意喚起だけでなく、宗教2世の存在を示唆、相談場所があることを伝える(新入生ガイダンス・チラシ作成等)
- 1 相談窓口の充実**

- 2 経済的支援者**
  - 1 一時的住居
  - 2 就労支援
  - 3 金銭援助
  - 4 学生未成年向け援助

行動計画未定

- 3 道具的支援者**
  - 2 助言と情報提供
  - 1 脱会の仲介・代理支援

## 間接的支援

|             |     |                      |
|-------------|-----|----------------------|
| ジャーナリスト     | 研究者 | 司法領域                 |
| 5 宗教2世問題の周知 | 私   | 未成年への信仰強要を規制する法律の制定? |

① ② ③ ① ② ③ 優先度・緊急度ランク

アクター

支援内容